

令和 6 年度

事業経過報告書

社会福祉法人 清風会

特別養護老人ホーム 平寿園

平寿園デイサービスセンター

平寿園居宅介護支援事業所

《 介護サービス 》

1) 介護事故の発生率を減らす

- 基本の介護技術を理解し、安全に介助する。
 - ◆ベッドを常に低床にする事を心がけ転落による事故防止が出来た。
 - ◆日頃から利用者様の状態の変化等をグループ職員で共有し、注意した事で事故の発生を減らす事が出来た。
 - ◆移乗方法（アームサポートやフットサポートを外す）を確認しながら介助する事が出来た。
 - ◆言葉かけを行いながら基本に忠実に介助を行うよう努力した。
 - ◆利用者の移乗や移動時など一つ一つの行動をする際に慌てず、確認を行う事で、事故防止につながる事が出来た。
- より良い介護実践の為に、ジョブメドレーの動画等で勉強会を行う。
 - ◆勉強会で話し合った事をうっかり忘れてしまい職員間がぎくしゃくする時があった。
 - ◆ジョブメドレーの動画を見ることで介護に繋げていきたいと思った。
 - ◆研修に行く機会が減り、ジョブメドレーで学ぶことも沢山あり、職員会担当時にもジョブメドレーが活用できた。インカムを使う事が少なかった。マンマーの人達も入って来たためインカム活用も今後教えていきたい。
- 事故発生時、迅速かつ適切な判断の元行動する（インカム活用し連絡・相談・報告）
 - ◆事故発生後は皆で話し合い情報を共有した。
 - ◆グループや他のグループで事故報告があった場合、周知共有する事で再発を防ぐことが出来た。
- ヒヤリハット、事故の状況を正確に記録し、的確な記録写真を撮る。
 - ◆ヒヤリハット事故時、罪悪感が先走り、記録写真を撮らず利用者対応してしまった。どのような場合でも落ち着いて行動する。
 - ◆事故報告、ヒヤリハット報告内容を把握・確認する事で事故防止に生かす事が出来た。
 - ◆介護事故発生時はインカムやタブレットを使用し、記録写真を撮ることで明確に記録できた。
- 事故後のクレームに繋がらないよう、日頃の利用者の言動や家族への状態報告した内容等も記録に残す。
 - ◆以前転倒しないか見守っていたつもりだったが、仁王立ちして見ていたと利用者様から話があったとの事だったので気をつけたい。
 - ◆利用者様の様子や言動等を日誌に残す事が出来た。
- 担当業務に責任を持ち、事故やトラブル、不具合を報告し再発防止に努める。
 - ◆転倒のおそれがある人はマットの準備やスキャンで確認し注意することが出来た。
 - ◆担当としての毎日の声かけを心がけた。常に会話をし、不満や心配事がないか確認し、利用者様の変化に気づけるようにした。
 - ◆担当業務に責任を持ち、行動することは出来たが、短期入所者が多い高稼働時は個々の対応が出来ないことがあり、その結果、介護事故やヒヤリハットに繋がる

ケースもあった。

2) 利用者に安心安全な生活を提供する。

- ・ 笑顔を引き出す挨拶や会話に心がける。
 - ◆ 眼を見て会話する事を心がけ、笑顔で挨拶することが出来た。
 - ◆ 不安がらせず、笑顔を絶やさず安心できる環境を提供することが出来た。
 - ◆ リビング内を職員手作りの折り紙で飾り付けをして、季節を感じてもらった。
- ・ 相手を敬い、適切な言葉で利用者との対話出来る。
 - ◆ 言葉遣いに気をつけながら会話する事が出来た。
 - ◆ 言葉かけを意識して行動できた。
 - ◆ 利用者様に合わせた言葉かけや笑顔で対応することが出来た。
- ・ 適切な対応の中での面会や電話による近況報告で家族との繋がりを支援する。
 - ◆ 利用者様の帰宅願望が強いときは、家族に連絡を取り帰省出来るようにした。
 - ◆ 面会時は日頃の様子を伝え、家族との繋がりを支援できた。
 - ◆ 家族と電話で話したいとの要望に応え、同時に近況を報告したりして家族との繋がりを支援することが出来た。
 - ◆ 園だよりを通じて家族へ施設で季節に応じた行事をしている様子を伝えた。
- ・ アクティビティの充実に努め、楽しみのある生活が送れるよう支援する。
 - ◆ 楽しく過ごしてもらえるよう余暇活動や体操を行った。
 - ◆ 余暇活動でリビングの装飾や塗り絵等を行うことで楽しい時間を提供できた。
- ・ ケアプランや身体状況を把握、情報を共有し個々に合ったケアを提供する。
 - ◆ ケアプランに沿って必要なリハビリを提供し、どのグループでも同じ対応をすることが出来た。
 - ◆ サマリーや申し送り等で利用者の情報を共有し、どのグループでも同じ対応をすることが出来た。
- ・ 利用者に対して間違っ言動や介助への気づき、それに対してのアドバイスやフォロー出来る。
 - ◆ お互い言葉遣いや介助で気になる時は、注意してより良いケアが出来るようにした。
 - ◆ 利用者様に対して、不適切な言葉や介助について、気づいた時は職員同士で注意し合い、フォローした。

3) 火災や地震、感染症等危険予測に基づいた行動をとる。

- ・ 災害や感染症発生時に適切な初期行動がとれよう日頃より訓練に参加し、常にシミュレーションする。
 - ◆ 防災訓練を毎月行うが、第一発見者や園内放送、仮眠者等の役割時には戸惑ってしまった。日頃からシミュレーションを心がけようと思った。
 - ◆ 何年も同じ事を繰り返しているが、手順通りにすることが大事だと改めて感じた。
 - ◆ 夜間地震が起きたときに慌てた事があった為、勉強会などで地震時の対応を再確認し、今後に生かしたい。
 - ◆ 災害発生時即座に対応できた。また、グループ勉強会で再確認もあった。
- ・ マニュアルに沿った対応手順で素早く行動できる体制を作る。
 - ◆ 感染症については素早く行動が出来るようにマニュアルを確認しておくことが必要と思った。
 - ◆ 感染発生時に初動体制から終息まで、毎朝のミーティングで施設全体が状況を共有し感染症に対しての協力体制が作れた。
- ・ 限られた人員で対応できることを検討し、代替え手段（人員・設備）での

応急処置やシフト等協力体制をつくる。

◆限られた人員でのシフト協力体制が出来た。

◆グループ内の伝達で代替え手段をスムーズに行えた。

- ・災害時に利用者に必要なサービスが安定的に継続提供される体制作り。

T K Bに関する物品等の確保・I Tの活用等

◆災害時に利用者様に必要サービスを提供できる体制作りが出来た。

また、災害時だけでなく、生活環境を整えることが出来た。

- ・職員が職場で体調不良を申し出やすい環境をつくる。

◆セルフチェックを事前にする事で、感染症を園内に持ち込まないようにした。

◆体調不良時はグループ内で相談し、シフト調整し休むことが出来た。

◆手洗い、うがい、消毒の実施や感染症にかからない努力をした。

◆限られた人員でのシフト協力体制は出来たが、体調不良を申し出やすい環境ではなかった。

@資格取得

介護福祉士 1名受験 (合格)

介護支援専門員 (受験なし)

【事故報告について】 69件

- ・転倒8件(夜間3件・昼間5件：内受診2件：異常なし)
- ・座り込み5件(夜間1件・昼間4件)
- ・転落10件(夜間4件：1件病院に連絡し医師の指示を仰ぐ・昼間6件)
- ・皮膚剥離6件(ステリテープ、ガーゼ、コンネット等処置)
- ・荷物持たせ忘れ11件 ・器物破損 3件 ・異物混入 1件(髪の毛)
- ・誤薬2件(病院連絡し医師の指示仰ぐ) ・与薬忘れ 2件
- ・異食2件(クッションのビーズ・テーブル上の花)
- ・車輛事故1件(動物の飛び出しによる自損)
- ・その他18件

【 看護 】

1) 感染症対策に努める。

- ・BCP計画の見直し、訓練研修を行う。

◆感染症対策委員会時に訓練研修を実施することが出来た。

- ・感染予防対策として、日常生活の中で環境整備、換気、手洗い、うがいの施行。

◆1月に短期利用者がインフルエンザに感染しており、その利用者に接していた利用者5名が感染したが、職員の徹底した対応(換気・手洗いなど)で感染者が増えることはなかった。

- ・職員一人一人が危機感を持ち、自身の健康管理に努める。

◆自身の体調が悪いときに早めに受診した事で、感染を施設内に持ち込むことはなかった。

2) 利用者の健康管理に努める。

- ・医師、看護、介護、その他の職種との連携を図り情報を共有する。

- ◆医療機関、介護、施設内の他職種との連絡連携を図ることが出来た。
 - ・体調の変化と臨床症状を照らし合わせ移乗の早期発見に努める。
 - ◆毎日対応している介護職が利用者の変化に気づき、症状などを医師に報告相談し、早めに受診をする事が出来た。
 - ・年に1回の健康診断、回診などにおいて健康維持、増進の為に援助を行う。
 - ◆健康診断を受け、2ヶ月に1回の糖検を実施するなど健康を維持することが出来た。
- 3) 機能訓練への取り組み。
- ・関節の拘縮、血行障害の緩和予防のため、個々の身体機能と生活に合わせたケアプランを作成し、他職種と連携をとりながら機能回復に努める。
 - ◆計画に沿った機能訓練や生活リハを実施する事が出来たが、身体機能を維持できず、計画変更になった利用者もいた。

【 調理・栄養士 】

- 1) 衛生管理の徹底により食中毒を予防する。
- ・汚染区域と非汚染区域の靴の履き替えの徹底。
 - ◆以前より改善できているが、完璧でないため継続する。
 - ・調理器具の洗浄後の適正保管。
 - ◆指定場所に保管できていたが、洗浄の不十分が多かった。
- 2) 各部署との連携により利用者様の体力維持をサポートする。
- ・食欲低下の方の食欲推進。
 - 栄養ゼリー、ウイダーゼリー、CZHI、エネプロゼリー等
 - ◆各部署との話し合いにより、本人に合った味や分量を調整することで対応できた。
 - ・水分摂取できない方のとろみの調整。
 - ◆甘めの栄養ドリンクや汁をミキサーにし、ゼリー状にする事で食する事が出来た。目線を変えるだけで利用者様には新鮮なのかもしれないと勉強になった。
 - ・嗜好調査を基に個別調理による食欲増進
 - ◆食事低下の方の嗜好調査を基に、プリンやオロナミン等を提供する事で食事意欲をあげる事が出来た。
- 3) 利用者様に喜んで頂ける食事の提供。
- ・季節食材を取り入れた献立
 - ◆季節野菜等を入れ込んだ献立を多く提供する事が出来た。
(白菜・大根・青じそ・胡瓜・キノコ類・薩摩芋・ゆず・蕎麦等)
 - ・嗜好調査を基に献立に取り入れる。
 - ◆嗜好調査の意見も取り入れつつ、利用者様からリクエストがあった場合は翌月の献立に取り入れることが出来た。
 - ・利用者様が楽しみにしているイベント食の提供。

- ◆例年同様提供することが出来たが、魚の解体は姿造りの完成のみを見てもらった。作る途中で飽きる方もいたので、今後このスタイルで提供することに決定した。

【介護支援専門員】

- ・入居者ひとりひとりに合ったプランを作成するために、心身の状態の把握やご本人の要望を時間を取って聞き取るようにする。
 - ◆実現可能な個人にあったケアプランの立案をして、毎月のプラン（サービス内容）の実施状況を確認した。
- ・ケアプランが確実に実行されるよう、関係職員や担当職員への周知に努める。
 - ◆新規プランの立案でプラン内容が周知されていない時はグループの介護職員や夜勤者に伝達した。
- ・ご家族へのプラン説明や心身状態の説明を機会あるごとに行い、入所者様の日常の様子を知って頂く努力をする。
 - ◆家族の面会時や電話での問い合わせ時に日頃の様子を説明した。薬や皮膚状態等、看護からの説明が必要な場面では看護からの説明を行った。

【事務管理】

- ・各部署とのコミュニケーションを図り情報を共有し、利用者・ご家族からの要望や問い合わせに対しての円滑な対応をする
 - ◆部署との情報の共有に関して、物品購入時にイメージが違い返品することがあった。
- ・職員に係る各種届、申請等の手続きについては、積極的な電子申請の活用を図る。
 - ◆福利厚生などの事務取扱等電子申請への移行を実施した。
- ・利用者・ご家族をはじめ来訪者に明るく温かな接客マナーを持って対応を行う。
 - ◆接客マナーは特に苦情等なく明るい笑顔で対応できた。
- ・介護報酬改定について、加算や算定条件、変更点等の内容を理解する。
 - ◆処遇改善報告やそれに関係する引き継ぎや、若宮荘と連携しながら行った。

【相談員】

- ・災害や地震発生時に、適切な初動行動がとれるよう基本動作を習得し訓練計画に生かす。
 - ◆火災、震災発生時の初期動作等を訓練し実施。また、BCPの内容確認（方法や手順）を全体で行い、周知することが出来た。
- ・感染症においては、感染防止を行いながら関連する動向や情報を注視する。
 - ◆手洗い、うがい等の感染予防の徹底と、感染者が出た時に各部署の協力による迅速な対応にて感染拡大を防ぐことが出来た。

- ・地域交流の活動や受け入れにおいては、そのときの状況に合わせ家族や地域と連携を図りながらふれあいの場を提供する。

◆感染症関係にて、施設内でのふれあいの場を提供する事は出来なかった。
(9月敬老会においては感染症対策を行い実施)

- ・外部からの苦情・問い合わせに対しては情報を収集し、迅速かつ適切に対応する。

◆苦情) 4件

1) 短期入所者S. A様ご家族(息子様より)

入浴回数について・・・1週間の短期入所時は2回することを説明

2) M. F様 S. F様(歳)ご家族(外泊時の会話でお孫さんより)

@お菓子の件について：名前を書いて預かり、お茶の時間に食べてもらっている。

@歯ブラシ・歯磨き粉の件について：本人用の物を購入し、他の人が使うことはないことを説明

3) K. Y様

夜間のオムツ交換時、パットを入れ替えただけで洗わなかった。

：便がだらだら出ている為、丁寧に洗浄した。洗浄中も

痔瘻が痛い痛いと言い、大変だった。(夜勤対応者確認)

4) S. K様

起床介助の職員に臭いと言われ、部屋の入り口から仁王立ちして見ていた。

臭いの件：パットが濡れていたが、交換を拒否した為、尿が付いていると臭いがするので換えた方がよいことを伝えた。

仁王立ちの件：荷物を持ち歩くので危ないことを伝えるが聞こうとしない為居室入り口から転倒しないか見守っていた。

苦情・問い合わせの対処等の内容は相談記録に残した。

- ・利用者・職員とのコミュニケーションを密にし、要望やニーズを汲みとり安心して相談できる環境づくりを行う。

◆会話の場を多く持ち、笑顔で会話しやすい雰囲気作りを行った。職員からの相談等では、話の内容を傾聴し、納得してもらえるような対応に心がけた。

- ・職員のよりよい就業環境を整えるため、随時に合わせた勤務調整を行う。

◆職員の急な休みにおいては、他部署等の協力もあり迅速に勤務に取り入れ調整する事ができた。

生活困窮者等に対する相談支援事業

「みやざき安心セーフネット事業」への取り組み

令9月25日 椎葉村生活困窮者支援会議に出席

内容：現在支援中の5件の支援内容の報告

北部福祉こどもセンターより管内町村別の統計説明

令和6年度の利用実績はなかった。

【 令和6年度 外部研修 】

期日	名称	会場	内容	出席者
6 / 3	介護福祉士養成実務者研修	延岡市	・講義 介護に至るまでの専門知識他	介護職員
6 / 17	介護福祉士養成実務者研修	延岡市	・講義 事例を用いたアセスメントとグループワーク	介護職員
6 / 24	介護福祉士養成実務者研修	延岡市	・介護計画書作成 他	介護職員
7 / 19	県北ブロック施設長会	高千穂町	・提出議題討議 入居率、待機者数、在宅稼働率について他 講義 福祉法人の決算書の読み方と注意すべき経営指標	施設長
7 / 22	介護福祉士養成実務者研修	延岡市	・テキストの事例に基づいた介護技術の評価	介護職員
8 / 2	サービス管理責任者・自動発達支援管理責任者基礎研修	平寿園 (オンデマンド配信)	・講義 相談支援の目的・基本的視点・必要な技術 他	介護職員
8 / 5	サービス管理責任者・自動発達支援管理責任者基礎研修	平寿園 (オンデマンド配信)	・講義 障害者総合支援法、児童福祉法における相談支援他	介護職員
8 / 19	介護福祉士養成実務者研修	延岡市	・筆記試験、解説	介護職員
8 / 23	高齢者施設における感染症予防対策研修会	日向市	・講演 コロナかどうかに関わらず、やらないといけない感染対策	介護職員
8 / 26 ～27	介護福祉士養成実務者研修	延岡市	・演習 喀痰吸引の基礎知識と実施演習、緊急蘇生法講習	介護職員
9 / 24	介護福祉士養成実務者研修	熊本市	・テキスト事例に基づいた介護技術の評価	介護職員
9 / 29	介護支援専門	宮崎市	・講義 在宅介護における呼吸	介護職員

	とりハビリテーション専門職との合同フォーラム		器疾患と在宅リハビリテーションについて	
9 / 3 0	主任介護支援専門員研修	平寿園 (オンライン)	・講義 主任介護支援専門員の役割や専門的な視点を持つ必要性 他	介護職員
1 0 / 2	介護予防ケアマネジメント実践研修	宮崎市	・講義 介護予防支援の変遷 他	介護職員
1 0 / 4	県北ブロック介護職員研修	日向市	・講演 介護職の職業倫理提出議題討議	介護職員
1 0 / 1 5	県北ブロック事務長・事務員研修	延岡市	・講演 定額減税について提出議題討議	事務員
1 1 / 1	eラーニング研修	平寿園	・終末期ケア他	介護職員
1 1 / 7	地域援助技術(コミュニティソーシャルワーク)	宮崎市	・講義 地域援助技術について学ぶ 他	介護職員
1 1 / 1 1	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修	平寿園 (オンデマンド配信)	・講義 制度の改定について 他	介護職員
1 1 / 1 5	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修	平寿園 (オンデマンド配信)	・講義 利用者主体のアセスメント 他	介護職員
1 1 / 1 8	高齢者虐待防止研修	平寿園 (オンライン)	・講義 虐待防止委員会の役割、不適切なケア	介護職員
1 1 / 2 5	主任介護支援専門員研修	宮崎市	・講義 地域における生活の継続を支える医療等の連携及び	介護職員

			他職種の実現 他	
11/29	県北ブロック 生活相談員研 修	高鍋町	・講演 災害福祉支援ネットワ ーク協議会と災害派遣福祉チ ームの取り組みについて 提出議題討議	相談員
12/6	県北ブロック 施設長研修	延岡市	・提出議題討議	施設長
12/4	サービス管理 責任者・児童 発達支援管理 責任者基礎研 修	宮崎市	・演習 個別支援計画の作成 他	介護職員
12/14	対人援助者監 督指導（スー パービジョン）	宮崎市	・講義 対人援助者監督指導に ついて学ぶ 1回目	介護職員
12/21 ～22	対人援助者監 督指導（スー パービジョン）	宮崎市	・講義 対人援助者監督指導に ついて学ぶ 2・3回目	介護職員
1/8	個別事例を通 じた介護支援 専門員に対す る指導、支援 の展開	宮崎市	・講義 個別事例に通じた介護 支援専門員に対する指導、支援 の展開	介護職員
1/20	個別事例を通 じた介護支援 専門員に対す る指導、支援 の展開	宮崎市	・講義 個別事例に通じた指導 、支援の準備と実施	介護職員
1/26	介護福祉士国 家試験	宮崎市	・筆記試験	介護職員
1/28	県北ブロック 栄養士・調理 員研修会	延岡市	・講話と実演 食品ロス、人件費等の削減につ いて、提出議題討議	栄養士
2/3 ～4	社会福祉主事 資格認定通信	平寿園	・講義 社会福祉概論・地域福 祉論 他	介護職員

	課程 (オンライン)			
2 / 5	個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導、支援の展開	宮崎市	・講義 指導、支援対象となる事例の理解について	介護職員
2 / 7	社会福祉施設等給食研究会研修	日向市	・ローリングストックについて 講義 衛生管理 事例検討	栄養士
2 / 10 ～13	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング	神奈川県	・講義 倫理、価値、コミュニケーションについて 他	職員
2 / 12	県北ブロック看護職員研修会	木城町	・講演 疥癬の感染対策について 提出議題討議	看護職員
2 / 17	個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導、支援の展開	宮崎市	・講義 主任ケアマネとしてのプロフェッショナル意識を持ち指導することについて 事例検討	介護職員
3 / 14	県北ブロック施設長会	日向市	・講義 労働災害防止について	施設長
3 / 14	管内給食施設研修会	平寿園 (オンライン)	・給食施設における災害時の食事提供について	栄養士

園内研修

期日	内 容	職員
4 / 23	看護企画 「陰部保清の仕方について」	園長 他24名
5 / 28	2階企画 「食事介助の基本（基礎知識）」	園長 他32名
6 / 24	調理企画 「とろみとゼリーの理解」	園長 他37名
7 / 24	そよかぜ企画「身体拘束・虐待」	園長 他28名
8 / 26	デイサービス企画「接遇の5原則について」	園長 他31名
9 / 24	伝達研修 感染症予防対策研修会 ふるさと企画「リスクマネジメント研修」	園長 他30名
10 / 28	伝達研修 県北ブロック介護職員研修 事務所企画 「メンタルヘルス研修」	園長 他29名
11 / 26	伝達研修 高齢者虐待防止研修 看護企画 「褥瘡予防」	園長 他33名
12 / 26	伝達研修 介護福祉士養成実務者研修 2階企画 「認知症ケアの基本」	園長 他28名
1 / 27	伝達研修 県北ブロック生活相談員研修 デイサービス企画「プライバシー保護について」	園長 他27名
2 / 26	伝達研修 主任介護支援専門員研修 他 そよかぜ企画「記録の重要性～介護記録」	園長 他28名
3 / 24	伝達研修 サービス管理責任者研修 ふるさと企画 「不適切ケア」	園長 他29名

【 グループ研修（勉強会） 】

【介護】		
4 / 17	・短期入所者の荷物預かりについて ・火災、地震発生時の初期動作について	2階 計 4名
4 / 28	・陰部洗浄の仕方 ・入浴介助について	そよかぜ ふるさと 計 5名
5 / 5	・業務内容確認 ・機械浴槽、ハグ等の使い方について	そよかぜ ふるさと 計 6名
5 / 19	・不適切ケア（言葉遣いについて） ・車イス操作、点検について	2階 計 4名

6 / 1 5	・褥瘡予防について	ふるさと	計 3名
6 / 1 9	・レクレーション、グループ体操について	2階	計 5名
6 / 2 7	・ハグの使用方法 ・オムツの当て方について	そよかぜ	計 4名
7 / 2 7	・尿路感染症について（陰部洗浄）	2階	計 4名
8 / 1 1	・食事の配膳、服薬介助（誤薬予防）について	そよかぜ	ふるさと 計 6名
8 / 2 2	・入浴方法の確認（ミスト浴） ・食事介助、摂取姿勢について	2階	計 4名
9 / 1 7	・不潔行為者のオムツの当て方について ・感染症のある方の対応について（介護の手順確認）	そよかぜ	ふるさと 計 8名
9 / 2 5	・利用者対応について（監視と見守りの違い） ・体調不良者、急変時の対応確認	2階	計 4名
1 0 / 1 5	・受診車の操作確認 ・口腔ケアの実践（ブラッシングの仕方）	そよかぜ	計 3名
1 0 / 2 0	・受診車の操作確認 ・服薬マニュアルの確認	ふるさと	計 3名
1 0 / 2 5	・服薬介助（誤薬予防）、感染症マニュアルの確認 ・不適切な言葉の置き換えについて	2階	計 3名
1 1 / 1 6	・不潔行為者のオムツの当て方について ・服薬介助（誤薬予防）マニュアルの確認	そよかぜ	ふるさと 計 5名
1 1 / 2 5	・オムツの装着について	2階	計 4名
1 2 / 2 0	・尿量や肌トラブルに合わせたパットの選定について	2階	計 5名
1 2 / 2 2	・就寝介助、ポジショニングについて	そよかぜ	ふるさと 計 6名
1 / 1 1	・感染予防（清潔不潔について） ・プライバシーの保護（入浴・オムツ交換）について	そよかぜ	ふるさと 計 8名
1 / 2 9	・感染症（インフルエンザ）の対応について	2階	計 4名
2 / 2 5	・トロミの使用について ・オムツの当て方について	2階	計 4名

2 / 2 6	・感染症にある方の介護手順について ・尿量や肌トラブルに合わせたパットの選定について	そよかぜ ふるさと 計 8 名
3 / 2 9	・带状疱疹について理解と知識 ・不適切ケア、身体拘束について	2 階 計 5 名
【調理】 4 / 1 4 6 / 1 3 8 / 1 1 1 0 / 1 3 1 2 / 7 2 / 1 2	・腸炎ビブリオ食中毒について ・黄色ブドウ球菌食中毒について ・サルモネラ菌食中毒について ・ノロウィルス食中毒について ・病原性大腸菌食中毒について ・カンピロバクター食中毒について	栄養士、調理員 計 7 名 計 8 名 計 7 名 計 7 名 計 8 名 計 6 名

企画委員会	期 日	内 容	出席者
	4 / 1 5	・ 5 月行事予定について ・ 感染症対策について ・ 介護報酬改定、職員確保について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 8 名
	5 / 1 4	・ 6 月行事予定について ・ 感染症対策について ・ 外国人介護労働者雇用について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9 名
	6 / 1 7	・ 7 月の行事予定について ・ P C ソフト更新について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9 名
	7 / 1 7	・ 8 月行事予定について ・ 感染症対策について ・ 台風、土砂災害対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9 名
	8 / 1 9	・ 9 月行事予定について ・ 感染症対策について ・ 台風、土砂災害、地震対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 8 名
	9 / 1 9	・ 1 0 月の行事予定について ・ 感染症対策について ・ 利用者減少、職員数増加、経費増について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9 名
	1 0 / 1 7	・ 1 1 月の行事予定について ・ 感染症対策について ・ 特定技能介護職員入国、採用について他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9 名
	1 1 / 1 4	・ 1 2 月の行事予定について ・ 感染症対策について	園長 副園長 相談員 各部署主任

	12 / 16	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災対策について 他 ・1月行事予定について ・感染症対策について ・利用減少（経営状況悪化）について 他 	計 9名 園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	1 / 16	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の行事予定について ・感染症対策について ・特定技能介護職員について 他 	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	2 / 13	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の行事予定について ・感染症対策について ・新年度事業計画について 他 	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	3 / 17	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の行事予定について ・感染症対策について ・4月異動について 他 	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
職員会議	期 日	内 容	出席者
	4 / 23	<ul style="list-style-type: none"> ・5月行事予定について ・介護報酬改定について 他 	園長 他24名
	5 / 28	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の行事予定について ・5年度事業報告について 他 	園長 他32名
	6 / 24	<ul style="list-style-type: none"> ・7月の行事予定について ・大雨、土砂災害対策について 他 	園長 他37名
	7 / 24	<ul style="list-style-type: none"> ・8月行事予定について ・感染症対策について 他 	園長 他28名
	8 / 26	<ul style="list-style-type: none"> ・9月行事予定について ・地震、台風、土砂災害対策について 	園長 他31名
	9 / 24	<ul style="list-style-type: none"> ・10月行事予定について ・感染症対策について 他 	園長 他30名
	10 / 28	<ul style="list-style-type: none"> ・11月行事予定について ・特定技能介護職員の採用について 	園長 他29名
	11 / 26	<ul style="list-style-type: none"> ・12月行事予定について ・感染症対策について ・年末調整について 他 	園長 他34名
	12 / 26	<ul style="list-style-type: none"> ・1月行事予定について 	園長 他28名

	1 / 2 7	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策について ・年末年始の火災、事故防止について他 	園長 他 2 7 名
	2 / 2 6	<ul style="list-style-type: none"> ・2月行事予定について ・感染症、節約について 他 	園長 他 2 8 名
	3 / 2 4	<ul style="list-style-type: none"> ・3月行事予定について ・感染症について ・給与規程改正について 他 	園長 他 2 9 名
リーダー会	6 / 1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・4月行事予定について ・感染症について ・新年度事業計画について 他 	
	6 / 1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の業務について（退職者あり） ・グループ間の協力体制について ・外国人労働者の雇用について 他 	園長 他 6 名

食中毒対策委員会	4 / 2 3	・腸炎ピブリオ食中毒について	副園長 他 9 名
	6 / 2 4	・黄色ブドウ球菌食中毒について	副園長 他 1 0 名
	8 / 2 6	・サルモネラ菌食中毒について	副園長 他 8 名
	1 0 / 2 8	・ノロウィルス食中毒について	副園長 他 7 名
	1 2 / 2 7	・病原性大腸菌食中毒について	副園長 他 8 名
	2 / 2 6	・カンピロバクター食中毒について	副園長 他 8 名
感染症対策委員会	5 / 2 2	・コロナ、インフル感染者発生時の対応について	園長 他 1 4 名
	7 / 2 4	・尿路感染症について	副園長 他 7 名
	9 / 2 4	・偽膜性腸炎について	副園長 他 7 名
	1 1 / 2 6	・感染性胃腸炎について	副園長 他 7 名
	1 / 2 7	・インフルエンザについて	副園長 他 6 名
	3 / 2 4	・带状疱疹について	副園長 他 7 名
保健衛生委員会	4 / 2 3	・陰部保清について	看護 介護 調理 事務 デイ 2 5 名

	9 / 24	・バイタルチェックについて	看護 介護 15 名
	2 / 26	・手洗いが大切な理由	看護 介護 12 名
事故防止対策委員会	4 / 15	・事故報告についての対策検討 事故 5 件	園長 他 8 名
	5 / 14	・事故報告についての対策検討 事故 8 件	園長 他 8 名
	6 / 17	・事故報告についての対策検討 事故 4 件	園長 他 8 名
	7 / 17	・事故報告についての対策検討 事故 3 件	園長 他 8 名
	8 / 19	・事故報告についての対策検討 事故 4 件	園長 他 8 名
	9 / 19	・事故報告についての対策検討 事故 5 件	園長 他 8 名
	10 / 17	・事故報告についての対策検討 事故 6 件	園長 他 8 名
	11 / 14	・事故報告についての対策検討 事故 7 件	園長 他 8 名
	12 / 16	・事故報告についての対策検討 事故 6 件	園長 他 8 名
	1 / 16	・事故報告についての対策検討 事故 2 件	園長 他 8 名
	2 / 13	・事故報告についての対策検討 事故 8 件	園長 他 8 名
	3 / 14	・事故報告についての対策検討 事故 8 件	園長 他 8 名
身体拘束適正化委員会	6 / 13	・身体拘束につながる可能性について（現在の状況）	園長 他 8 名
	10 / 17	・身体拘束につながる可能性について（現在の状況）	園長 他 8 名
	12 / 3	・身体拘束につながる可能性について（現在の状況）	園長 他 8 名
	3 / 10	・身体拘束につながる可能性について（現在の状況）	園長 他 7 名
身体拘束に 関しての職 員研修	7 / 24	・身体拘束・虐待について	園長 他 28 名
	3 / 24	・不適切ケアについて	園長 他 29 名
身体拘束に 関しての新 人研修			
褥瘡対策委 員会			
看護検討会	4 / 1	・感染症対策委員会かくについて ・保健衛生委員会について 他	（施）看護師 3 名

【入居者サービス担当者会】

期日	参加者（名）	期日	参加者（名）
4 / 1 9	4	1 0 / 8	5
4 / 2 4	4	1 0 / 1 6	5
4 / 2 5	各部署への照会とプラン修正	1 0 / 2 1	5
5 / 9	5	1 1 / 7	5
5 / 1 5	4	1 1 / 1 8	6
5 / 2 7	4	1 1 / 2 8	5
6 / 1 1	4	1 2 / 1 2	5
6 / 2 1	4		
6 / 2 4	6	1 / 1 7	5
		1 / 2 3	5
7 / 1 2	各部署への照会とプラン修正		
7 / 2 4	6	2 / 5	4
		2 / 2 1	4
8 / 6	5	2 / 2 8	5
8 / 1 6	5		
8 / 1 9	3	3 / 3	5
		3 / 1 2	5
9 / 9	4	3 / 2 7	5
9 / 1 3	5		
9 / 2 0	5		

令和6年度

【実習受け入れ】

月 日	内 容	人数
6月27～28日	椎葉中学校2学年 職場体験	1名（男）

令和6年度 事業経過報告
行事・催し等 (園全体)

月 日	名称	内 容	備考
8 / 3 1	おやつ作り (そよかぜ・ふるさと)	・フルーツ缶とバナナを利用者に切ってもらい、サイダーを注ぎフルーツポンチを作る	利用者 15名 職員 6名
12 / 25	クリスマス会・カラオケ大会 (2階)	・コーヒーなど好きな飲み物やケーキを摂ってもらいながらカラオケを歌った。職員がサンタの衣装を着て、クリスマスカードを渡した	利用者 21名 職員 3名
1 / 1	1階合同茶話会 (そよかぜ・ふるさと)	・新年の挨拶後乾杯し、お菓子、酒、ノンアルコールを摂りながら、絵馬に書いた今年の抱負を披露	利用者 21名 職員 7名

ボランティア

月 日	団 体 名	目的・内容
3 / 13	椎葉村老人クラブ連合会女性部	・花壇の花木植栽

令和6年度 防災訓練

期日	名称	内容	参加者
4 / 10	火災・震災発生時の初期動作確認・BCP（災害時における事業継続計画説明）	＊火災・震災発生時の初期動作確認 利用者・職員の安全確認、避難経路の把握と確保 ＊BCP（事業継続計画）について 内容説明	職員 13名
5 / 8	夜間を想定した初期対応訓練	＊デイサービスより出火したとの想定で訓練実施	職員 17名 利用者60名
6 / 12	夜間を想定した避難訓練	＊厨房より出火したとの想定で訓練実施	職員 16名 利用者55名
8 / 7	消火器・消火栓操作訓練、手順確認	クンレンダー（訓練用消火器）・消火栓の手順確認と操作方法	職員 10名
9 / 4	昼間想定避難訓練	＊洗濯場より出火したとの想定で訓練実施	職員 22名 利用者57名

9/27	緊急通報訓練 (1回目)	*携帯LINEでの連絡 LINEに入っていない職員には部署内 での連絡	職員 53名
10/9	地震発生時の初期 動作確認(BCP含む)	*発電機の操作訓練・避難経路の把握と確保	職員 14名
11/12	総合防災避難 訓練(消防団との 連携)	*ポータースモッグ(発煙装置)使用にて 流れの確認	職員 27名 消防団員 10名 九電工 2名
12/4	消火器・消火栓 操作訓練	*クンレンダー(訓練用消火器)を使用した 放水訓練・消火栓の手順確認と操作方法	職員 12名
1/22	夜間を想定した 初期対応訓練	*機械室より出火したとの想定で訓練実施	職員 15名 利用者56名
2/12	昼間を想定した 避難訓練	*厨房より出火したとの想定で訓練実施	職員 23名 利用者56名
3/12	BCP(事業継続 計画)、自然災 害発生時におけ るBCP	*BCP(事業継続計画)についての説明	職員 13名

令和6年度 利用者状況

【入退所状況】

退所者

	退所年月日	性別	年齢	備考
R6	4/12	男	96	死亡
	4/14	男	100	死亡
	4/17	男	90	死亡
	4/28	女	98	死亡
	5/17	男	93	死亡
	6/3	女	90	死亡
	6/6	女	93	死亡
	6/9	男	94	死亡
	6/25	女	93	死亡
	6/29	男	92	死亡
	7/8	女	88	死亡
	7/11	男	93	死亡

入所者

	入所年月日	性別	備考
R6	4/1	女	在宅より
	4/30	女	他施設より
	5/14	女	在宅より
	6/4	女	在宅より
	6/17	男	病院より
	7/2	男	他施設より
	9/9	男	病院より
	9/20	女	病院より
	9/29	女	他施設より
	10/15	男	病院より
	10/16	男	在宅より
	10/30	男	美郷町より

7 / 15	男	97	死亡		11 / 8	女	在宅より
10 / 7	男	95	死亡		12 / 12	女	在宅より
10 / 16	男	94	死亡		12 / 20	女	在宅より
11 / 1	男	96	死亡	R7	1 / 20	男	在宅より
11 / 15	男	84	死亡		1 / 27	男	他施設より
11 / 25	男	98	死亡		2 / 20	男	在宅より
12 / 1	男	81	死亡		2 / 25	男	日向市より
12 / 10	男	84	死亡		2 / 27	女	在宅より
12 / 11	女	88	他施設				
12 / 12	男	87	死亡				
12 / 19	女	87	死亡				
R7 1 / 3	男	95	死亡				
2 / 25	女	98	死亡				
3 / 22	女	100	死亡				

【性別年齢構成表】

令和7年 3月31日現在

年齢（歳）	80未満	80以上～ 90未満	90以上～ 100未満	100以上	合計
男性	5	8	6	0	19
女性	1	8	23	0	32
合計	6	16	29	0	51

【平均年齢】

男性	84.8歳
女性	91.4歳
全体	89.0歳

【要介護度別構成表】

令和7年 3月31日現在

要介護度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	0	3	3	9	4	19
女性	0	0	0	6	19	7	32
計	0	0	3	9	28	11	51

(平均要介護度 3.3)

【性別在所期間】

性別 \ 在所期間	1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年以上	計
男性	8	7	4	0	0	19
女性	8	16	4	2	2	32
合計	16	23	8	2	2	51

令和6年度入所実績

R6・4・1～R7・3・31

月	事業別のべ入所者数				
	施設入所 (60)	短期入所	予防短期	障がい短期	短期宿泊
		(16)			
4月	1521	225	28	0	0
5月	1552	256	34	0	0
6月	1536	272	31	0	0
7月	1476	163	1	0	0
8月	1485	266	9	0	0
9月	1437	266	12	0	0
10月	1525	282	4	0	0
11月	1487	258	8	0	0
12月	1446	276	17	0	0
1月	1415	233	27	0	0
2月	1318	323	5	0	0
3月	1527	298	13	0	0
計	17725	3118	189	0	0
平均利用者数 48.5人／日		平均利用者数 9.0人／日			
年間稼働率 80%		年間稼働率 56%			

令和6年度 デイサービスセンター事業報告

要介護者や障害のある方達の閉じこもりを防止し、住み慣れた地域で安心・安全に生活が送れるように支援する

1、感染症予防対策に努める。

- ・感染防止の為、マスク着用・手洗い・消毒等の基本対策を継続していく。
- ・乗車前の検温・マスク着用の促し、準備。
- ・利用者、ご家族を含めた体調の確認を行う。
 - ◆送迎時、ご家族を含めた体調確認やマスク着用等の基本予防対策は確実にを行う事が出来た。
- ・テイルーム内では、時間を見て換気を行い、座席の間隔を広く取る。
 - ◆時間を見ての換気、座席の間隔を広く取ることも確実に出来た。

2、個別ケアへの取り組み（運動機能の維持向上に努める）。

- ・自宅の環境や生活の場に合わせた支援を心がけ、過剰な対応は行わない。
- ・生活動作に関連した体操・運動を行う（入浴・排泄面等）
 - ◆自宅での生活の様子を基本に、本人に合わせた支援や日常動作に関連した運動を行う事が出来た。
- ・運動やレクリエーションを行う前は、ストレッチや深呼吸を行う。
- ・身近な素材を使用したシンプルな運動や体操を提供する。
 - ◆活動前に軽体操や音楽・タオルを使用した体操を行う事が出来た。
- ・難聴のある方は、側で説明し理解できているかの確認を行う。
- ・定期的に運動機能の測定を行い、本人の頑張りを支援していく。
 - ◆難聴の方への対応は、本人の側と一緒に活動し、説明を行う事が出来た。

3、利用者・ご家族との連携を深める。

- ・敬意を持った言葉遣いや、笑顔での挨拶を心がける。
- ・家族からの申し送り事項は、他の職員にも伝え統一した支援を行う。
 - ◆笑顔での挨拶は出来ていた。言葉遣いは、なれ合いの言葉を使う事があり、職員間で注意することがあった。
 - ◆ご家族からの申し送り等は、職員に伝え、統一した支援が出来た。
- ・医療ケアが必要な場合は、専門医の受診を勧め、ケアマネージャーや医療機関と連携しながら支援する。
- ・地域との連携を密にし、情報を共有する。
 - ◆身体に傷等確認され、医療ケアが必要な場合の本人や家族への説明、担当ケアマネへの報告、各関係機関との情報の共有は出来た。

【通所要介護度別利用実績】

令和6年4月～令和7年3月

月 介護度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要支援1	21	28	23	21	28	29	32	32	32	28	25	35	334
要支援2	53	51	48	43	29	34	42	33	36	28	28	31	456
	74	79	71	64	57	63	74	65	68	56	53	66	790

月 介護度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護1	19	22	23	15	8	22	22	22	24	19	21	32	249
2	28	35	30	37	30	37	53	32	20	29	28	33	392
3	8	11	9	10	7	12	18	18	22	19	11	16	161
4	21	27	22	12	6	11	8	7	23	10	12	11	170
5	0	0	0	11	6	12	15	12	0	12	9	12	89
計	76	95	84	85	57	94	116	91	89	89	81	104	1061

通所介護年間稼働日 251日

予防通所介護一日平均利用者数 3, 1人

通所介護 一日平均利用者数 4, 2人

要支援 1	1. 3人
要支援 2	1. 8人
要介護 1	1. 0人
2	1. 6人
3	0. 6人
4	0. 7人
5	0. 3人

【いきがい活動支援通所事業実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
のべ利用者数	52	60	51	44	26	42	49	50	46	32	26	47	525

(登録者) 29人

(1日平均利用者)

2. 1人

【障害者デイサービス事業実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
のべ利用	0	4	0	0	0	3	0	3	3	2	0	0	49

(登録者) 2人

(1日平均利用者)

0. 2人

令和6年度 平寿園居宅介護支援事業 事業報告

実績について

- ・新規の受け入れも積極的に行ったが、特養への入所者や、亡くなる利用者も多く結果として前年度に比べると支援者の人数は減少している。
- ・居宅支援事業所のケアマネが一人体制で、担当できる件数に制限はあるが、可能な数を受け持った。

居宅介護支援について

- ・居宅介護支援は独居、生活保護等、地域外への有料ホームへの入所調整を行った。
- ・予防支援や総合事業の業務は以前に比べると件数は減ったが計画や支援等ができた。
- ・個別ケア会議への事例提出も要請に従って提出、検討出来た。
- ・地域ケア会議、情報交換会議への出席もほぼ毎回出席出来た。
- ・提供表、プランの交付が遅れる事があり、事業所に迷惑をかけることがあった。

その他

- ・利用者の身体状況に合わせて福祉車両を利用し短期入所送迎を行った。

【居宅支援事業 令和6年度実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護1	7	6	8	6	6	8	6	6	5	6	6	5	75
介護2	10	10	11	14	13	15	17	17	16	15	18	18	174
介護3	6	8	9	8	7	8	6	7	7	5	3	3	77
介護4	6	4	4	4	4	4	4	5	6	7	6	7	61
介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護合計	29	28	32	32	30	35	33	35	34	33	33	33	387
予防 件数	19	19	19	16	15	13	12	12	12	10	9	9	165
件数合計	48	47	51	48	45	48	45	47	46	43	42	42	552